

農家訪問（栃木県さくら市 T さん）

○ペースト二段施肥に取り組んだきっかけは？

- ・ブロードキャスターで全層施肥していましたが、20 年程前、出入りの業者から紹介されてペースト肥料を使い始めました。
- ・そして、約 10 年前から二段ペースト施肥に取り組んでいます。



○栽培面積は？

- ・栽培面積は受託を含めて 10 町以上、全て二段ペースト施肥を行っています。

○ペースト二段施肥のいいところは？

- ・ペースト肥料を田植え機のタンクから流し込むため、重い粒状肥料袋を運ばなくていい。
- ・田植えと同時に農薬や除草剤の散布ができ、雨でも田植えができるのがいい。
- ・ペースト肥料は価格は高いが、総合的にはペースト施肥の方がメリットがあり、品質・収量ともに良好で、食味はいいと思う。

○ペースト肥料と環境問題についてのお考えは？

- ・ペースト肥料を使い始めたのは環境問題からではないが、被覆肥料を使うと代かき時にプラスチック殻が浮かんでくるのがわかる。この問題は最近度々報道されておりなんとかしなければならないのではないかと。

○田植え機の更新の予定は？

- ・田植え機は三菱マヒンドラ製を使っており、約 10 年たつことからそろそろ更新時期。同社は事業から撤退するとのことだが、何とか修繕して使い続けたい。
- ・ペースト二段施肥用の田植え機は、田植え機能だけのものより百万円程度高い。
- ・ペースト肥料は粘性が大きいので田植え時にペーストチャージャー（約 30 万円）が必要だが中古でも入手困難。

○その他の課題は？

- ・自分は高齢となり、経営全体のこととして後継者問題。